

## 第2回介護・医療連携推進会議 議事録

日時：平成26年6月18日（水）13：30～15：00

場所：ザタワーズイースト3F I-link ルーム1

### 1.開会

#### (1) 市川市福祉公社常務理事より挨拶

- ・開会にあたり定期巡回随時対応型訪問介護看護事業の現状を説明

#### (2) 委嘱状交付

- ・市川市福祉公社常務理事より「利用者代表」「利用者家族」「市川市職員」の3名に交付

#### (3) 委員等自己紹介

##### ・委員

地域住民代表者（藤城委員）、地域医療関係者（四ツ屋委員）、当該事業に知見を有する関係者（村上委員）、市川市職員（駒田委員）、利用者代表（西●●委員）利用者家族（西●●委員）

##### ・オブザーバー

レンティケアサービス菅野（緑川様）、すみれ薬局（御藤様）、しらぎく園（村尾様）、セントケア市川（吉田様※都合により欠席）、中部地域包括支援センター（清水様）、市川市介護保険課（松原様）

##### ・事務局

常務理事（下川）、事務局長（高久）、事業管理者（内野）、計画作成責任者（阿部）、オペレーター（渡部）

### 2.サービス提供状況報告

- ・事務局（阿部、渡部）より定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス提供状況報告（通報内容、サービス内容等）について説明した。

#### ■感想及び意見

##### <西●●委員（利用者代表）>

- ・以前、夜間対応型訪問介護を利用していたが、随時訪問でケアを受けていたところ費用が膨大になってしまった。その後、定期巡回随時対応型訪問介護看護サービスに移行してから生活が変わった。本当に困った時だけ随時対応を利用していきたい。

##### <西●●委員（利用者家族）>

- ・通報して訪問まで30～40分待てば来て頂けるのでありがたい。近所にサービスを利用している方がいるので、訪問時間はやむを得ないと思う。だがサービスを受ける側としては感激している。よい世の中になったと思う。今後もどうなるか皆様のサポートが必要だ。

<レンティケアサービス菅野・緑川様>

- ・このサービスは支給限度基準額を超えず一定額のサービスで良いが、マンパワー不足が問題だ。ぜひ対応して頂きたい。

<駅前薬局スマレ2号店・御藤様>

- ・担当している利用者で内服忘れがあり、定期的に訪問することで改善が見られてきた。今後も引き続き連携を取っていきたい。

<四ツ谷委員（地域医療関係者）>

- ・私が担当している利用者では、当初、アセスメントのみであったが今は週に1回定期的に訪問している。医療相談（主に薬について）ができ安心して様子が見られる。薬の副作用や体調管理などで継続的に支援していければと思う。

### 3. 前回の課題及び今後の課題について

- ・事務局（阿部、渡部）より前回の課題及び今後の課題について説明した。

### 4. 質疑応答<Q&A>

- ・議長より「今後の定期巡回随時対応型訪問介護看護サービスのあり方」についても含め幅広い意見が求められた。

#### ●意見<藤代議長>

- ・訪問介護の充実ということで、千葉県議会で知事は訪問介護の研修の増加を図り人材育成を検討している私ごとではあるが、認知症サポーターキャラバンでネットワーク作りをしていて行政だと現実論に乏しく理想論が多い。

(Q) 西●●委員（利用者家族）

人間関係における満足度、理解の深さが充足されているか。言ってよい事、悪い事の区別を付けることが重要である。また、自分のことを自分の知らないところで話されているように感じることもある。

(A) 事務局（内野）

市川市福祉公社として、利用者宅で知り得た情報を共有することでサービスの水準を保っている。また、関係機関との連携を図ることを目的とし、ケアマネジャーや医療職と共有を行っている。

(Q) 西●●委員（利用者代表）

よく対応してもらっているが、感謝の気持ちでお茶やお菓子を出す行為に対し拒否しないで欲しい。

#### ●意見<藤城議長>

- ・サービスを受ける側の意見が大事であり、気持ちを汲み取らないと失礼になる。受ける物と受けない物の線引きが必要なのではないか。



(A) 事務局 (内野)

利用者から負担金以外に物やお金をもらうことは禁止している。その気持ちだけ頂く。

(Q) 四ツ谷委員

広報として、今年度の目標人数を教えてください。

(A) 事務局 (内野)

今年度は12人を目標としている。サービス内容と派遣数のすり合わせが重要である。

●感想<駒田委員>

- ・今回、私個人では初めての会議なので次回の会議までに意見をまとめたい。

(Q) 中部地域包括支援センター (清水様)

認知症の利用者は少ないのか？

(A) 事務局 (阿部)

現在はいない。

(A) 事務局 (内野)

今後、利用する方が多くなってくると思うので、対応を検討したい。

(Q) 村上委員

西●●委員を担当している介護支援専門員に聞きたいが、普通のサービスを組むと支給限度基準額を超過してしまうのか？利用者には良いと思うが、運営も考えなければならないと思うが？

(A) レンティケアサービス菅野 (緑川様)

経費とスタッフのバランスが重要である。このサービスは、必要経費が抑えられて良いと思った。今後の課題としてアセスメント力を強化していきたいと思う。

(A) 事務局 (内野)

このサービスは組み合わせが柔軟にでき、時間に限らず短時間で複数回訪問出来る。例えば安否確認、服薬確認といったサービスである。長時間必要の場合は訪問介護で対応すべき。国は医療連携を重視しており充実できればと考えている。経費の面では、調べてみるとおおよそ30件程度で利益がでるとのことであった。

◆オブザーバーよりご意見

・しらぎく園 (村尾様)

モデルケースとして、サービスの内容、事例があればイメージしやすいので色々な形で周知していければケアマネージャーの理解も進むと思う。

・すみれ薬局 (御藤様)

情報のフィードバックが弱いところがある。福祉公社と薬局が細かく情報を交換を行うことで連携できると考えている。

(Q) 市川市介護保険課 (松原様)

通報件数について、誤報があるのか？

(A) 事務局 (内野)

「あんしん電話」は多くあるが、「夜間対応型訪問介護」と「定期巡回随時対応型訪問介護看護」は少ない。

●意見<西●●委員 (利用者家族) >

このサービスでは、どこまでやっていただけるのか、ここまでしかできませんという線引きをはっきりして、利用者と提供側の相互理解のうえ対応して欲しい。

以上

文責：市川市福祉公社

地域密着課 西田